

区議 レポート13

2011年11月10日 No.13

発行 菊地靖枝・きみがき圭子・橋本けいこ

〒176-0001 練馬区練馬1-15-1堀越ビル303

TEL 03-3948-6408 FAX 03-5999-4632

Eメール net-gikai@jcom.home.ne.jp

練馬・生活者ネットワーク区議会議員

本 橋 きみがき 菊 靖枝 圭子 けいこ



地域医療を支える拠点の休日夜間診療所

日大光が丘病院が撤退に

どうなる？練馬の地域医療

20年にわたって練馬の地域医療の中核として、特に、小児救急医療や周産期医療を支えてきた日本大学医学部付属練馬光が丘病院（以下、日大光が丘病院）が、7月、突然の撤退を表明したので、患者、病院関係者はもちろん、地域住民は大きな不安を訴えました。これを受けて区議会は、全区に対し地域医療の確保と充実を求めました。9月には公募した後継運営主体に公益社団法人地域医療振興協会が決まり、10月から区と日本大学本部、後継法人の3者による引継ぎ協議が始まっていますが、短期間での交代には多くの課題があります。

区は公表しなかつた

病院撤退の「発表」は突然でしたが、実は、2年前に日本大学理事会が決定し、区は引止め交渉に失敗、2010年12月には区と日本大の実務者レベルで撤退後の後継探しまで確認していたのです。本來なら、日大からの撤退の申し入れがあった時点でも、区民と区議会に報告すべきでした。もつと早い

時期に情報が提供されていれば、今のような混乱を招き、解決を遅らせるような事態には至らなかつたはずです。

区長はこれを公表しないばかりか、今年3月、日大病院を含めた5病院構想を突如、発表して、4月の区長選で3選されました。区民を欺くような区長の姿勢は区政府不信につながっています。

菊地靖枝・きみがき圭子・橋本けいこは、今後の引継ぎ状況について区民や区議会に速やかに情報公開し、区民向けの説明会を行うよう求めました。そのための説明会を開催する方針を示す方針を練馬区に提出しています。

さらに練馬駅北口にリハビリ病院を誘致しようとしています。

私たち8月に、日大病院について区民の声を聞き取りました。多く聞かれた意見は、日大運営の病院の存続というより、「病院の存続」と「練馬区の医療を保障してほしい」というものでした。

区民は自分が病気になった時、できるだけ住み慣れた地域で療養したい。そのために在宅医療の基础设施と病院の連携などが必要です。

現在検討中の地域医療計画策定が、光が丘病院撤退により1年先送りされました。私たちは、地域医療について、区民のみなさんの意見を集め、練馬区に提案していきます。

日大光が丘病院撤退までの経過

1991年	4月	練馬区医師会立病院を引継いで開設 (基本協定、30年の公有財産貸付契約締結)
2009年	1月	経営難のため練馬区に支援要請
	11月	日本大学理事会が2011年3月撤退を決定
2010年	3月	練馬区議会、日大光が丘病院支援を含む予算案可決
	12月	区と日大、撤退1年延長と後継探しを確認
2011年	7月	日大最後の通告、撤退公表
	9月	公募により後継運営主体決定

決算に反対しました

シリーズ 議会改革

廃止になった 地方議員年金制度

かねてより私たちが主張してきたように、地方議会議員年金制度が6月に廃止されました。すでに年金を受給している場合の扱いなどに課題は残りますが、議員特権の廃止は一步進みました。

日当なのか交通費なのか根拠があいまいな日額旅費についても、私たちは廃止すべきと主張して、受け取り拒否による供託を続けています。すでに廃止している杉並区や千代田区に続き、他区でも検討が始まっています。

これからも区民の目線で議会を変えていきます。

一般会計決算では、長引く不況で生活に苦しむ区民が増え、東日本大震災を機に社会や生活のあり方が問われているのに、相変わらずのハコモノ・道路優先の事業計画なので、認定に反対しました。国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計は、制度自体の抜本的な見直しと保険事業者としての区の独自策を求めて、認定に反対しました。

▶▶▶第3回定例区議会[9/9(金)~10/14(金)]が開催されました◀◀◀

子どもたちを放射能から守れ！

区議会議員 きみがき圭子 けいこ

環境まちづくり委員会／清掃リサイクル等特別委員会
<http://kimigaki.seikatsusha.net>



3月11日の大震災で発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、練馬区独自で早急に放射線量を測定するよう求めました。が、区の対応は遅く、8月に入つてようやく区内すべての保育園、幼稚園、小中学校、公園での測定

組織変更に問題あり！ 教育委員会が子育て指導？

区議会議員 菊地靖枝



文教委員会／交通対策等特別委員会
<http://kikuchi.seikatsusha.net>

来年4月から、子どもを支援する事業の権限と責任を、区長が教育委員会に委任し、さらに教育長に再委任するという複雑な組織変更の案を区は示しています。

そもそも教育委員会は、教育の政治的中立を保つために、区長の権限からは独立した機関として設置されています。

保育園、学童クラブ、児童館、子ども家庭支援センターなどの事

業は、「これまで福祉部が担つてきましたが、今後は教育委員会が執行・管理する」というのです。しかし、障がい児の支援事業は福祉部に残っていて、子ども施策の一體化にはなっていません。

子育て支援事業が教育委員会に委任されることで、事業に対する視点が教育的指導に偏り、管理強化につながることが危惧されま

す。教育的指導は、行き過ぎれば組織変更は見直すべきです。

が行われました。

春日町保育園の砂場では、区の対応基準値0・24マイクロシーベルト／時を超える放射性セシウムが検出され、砂を入れ替えました。しかし、3月から半年もの間、園児たちはこの砂場で遊んでいたのです。区はもっと早く対応すべきでした。

また給食の食材についても多くの保護者から不安の声が上がり、産地の公表と独自の測定をする自治体が増えています。「練馬区でも独自の測定を」と質問したところ、「主な産地を学校だよりや給

付けていました。その後、原発事故では、原発が人間とも自然とも共存できないことが、あらためて明らかになりました。多くの人と力を合わせて脱原発を実現していきたいと思います。

給食調理室ではせっけん使用100%に

区議会議員 橋本けいこ はしもと

区民生活委員会副委員長／医療・高齢者等特別委員会
<http://khashimo.to.seikatsusha.net>

漏れて既に出まわってしまったと

いう問題も実際にあります。

区の対応は、後手後手であり、危機感が感じられません。すでに食

材や環境の放射能汚染を自主的に測定している区民からの情報を区

は受け止め、とともに取り組んでい

ぐべきです。

生活者ネットワークは、チエル

ノブイリ原発事故以来ずっと「脱

原発」を訴えてきました。今回の

事故では、原発が人間とも自然と

も共存できないことが、あらためて明らかになりました。多くの人

と力を合わせて脱原発を実現して

いきたいと思います。

練馬区では、給食の食器洗浄に

中性洗剤とせっけんを併用してい

ます。その中性洗剤の成分を調べ

たところ、洗浄成分は天然でした

が、半残りは石油から作られた化

物質を含んでいます。一方、せっ

けんは無添加の純石鹼で人体にや

さしく、分解が速いので環境にや

さしい製品です。

給食食材の放射能汚染が心配さ

れていますが、私たちは給食調理室で使われる洗剤にもこだわって

きました。

練馬区では、給食の安全・安心を優先す

る、知恵と工夫で克服していると

ころで、他の自治体に聞き取り調査をしたところ、港区、中野区、世田谷区、日野市、八王子市、清瀬市では、

20年前らせつけん100%使用を続けていて、多少の使いにくさ

は、給食の安全・安心を優先す

れば、知恵と工夫で克服していると

ころでした。

化学物質過敏症やアトピー性疾患に苦しむ子どもたちが、増えています。児童・生徒にとって、より安全なせっけん使用100%をめざして活動を続けます。

INFORMATION インフォメーション

練馬区議会第4回定例会が開かれます
11月30日(水)~12月16日(金)
橋本けいこが一般質問を行います。
ぜひ、傍聴してください。

問合せ先
TEL 3948-6408
FAX 5999-4632

生活者ネットワークのルール

- 1議員を職業化せず、特権化しないために、議員は原則2期8年でローテーション(交代)します。
- 2議員報酬は市民の政治活動資金として活かします。お金の流れは公開します。
- 3選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

練馬駅北口区民ひろばのシンボルツリーはタチシダレヤナギ。全身包帯ぐるぐる巻きでSOSを発しています。(吉)